

海外からのお客さまへの おもてなし

12言語に対応したセブン銀行ATM

現在、日本政府は観光立国としてのさまざまな環境整備を進めています。日本では海外で発行されたキャッシュカード・クレジットカードなどが利用できるATMが限られています。セブン銀行ATMでは海外発行カードで日本円を引出すことができるため、海外からのお客さまやインバウンドビジネスにかかわる皆さまにとっても喜ばれています。ご利用時のATM画面、明細票、ATM音声も複数言語対応としており、2015年12月からは従来の5言語[英語、韓国語、中国語(簡体字)、ポルトガル語、日本語]に加えて、新たに7言語[中国語(繁体字)、タイ語、マレーシア語、インドネシア語、ベトナム語、フランス語、ドイツ語]を追加し、12言語対応としました。

※12言語対応は、現在導入を進めている第3世代ATMを対象としています。2015年12月時点で、全国にあるATMの90%以上が第3世代ATMとなっています。



12言語から選択可能



安心してご利用いただける環境を整備

日本のATMに不慣れな海外からのお客さまがスムーズにご利用できるよう、操作に迷って一定時間が経過すると音声でコールセンターをご案内するなど、ATMの機能を向上させています。また2015年12月より、さらに安心して安全にお取引をしていただけるよう、海外発行カード

のICチップ取引対応を拡大しています。2015年度末までに、主要な国際ブランドすべての対応を完了する予定です。

外国人旅行者が集まる場所に

日本の玄関口となる空港や海外からのお客さまがよくご利用になる駅、観光地に積極的にATMを設置しています。2015年10月には、JR大阪駅で多言語案内情報や荷物宅配サービスなどを提供する訪日外国人向けサービスセンター「Osaka Station City Tourist Service Center」にセブン銀行ATMを設置しました。また2015年11月に神戸で開催された「シーグラフアジア2015」などの国際イベントに移動ATM車両を派遣し、多くのお客さまにご利用いただきました。



JR大阪駅の訪日外国人向けサービスセンター

「シーグラフアジア2015」に派遣した移動ATM車両

グループ力を活かした総合的インバウンド対応

たとえば、セブン・イレブンでは、2015年7月よりインバウンド対応を本格的に推進しています。免税サービス、無料Wi-Fi、そして海外発行カードが使えるセブン銀行ATMと、グループ力を活かした総合的インバウンド対応で、海外からのお客さまをおもてなししています。



セブン・イレブン店頭での告知ステッカー